

第35回美術科教育学会島根大会 研究発表等一覧

■大会 第1日 3月28日(木)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
テーマ	鑑賞教育・ 美術館教育	図工・美術科授業研究	教員養成	海外の美術教育	美術館教育
9:30 ~ 10:00	対話による学習方法のめつ 学習過程の触発性について-鑑賞学習と算数学習の 相互行為分析をとおして-	ゲルハルト・リヒターを通じて抽象絵画教育を考 える(2)	美術科における教育実 習の実際と実習生への 指導に関する考察	国際バカロレアにおける 美術教育-初等課程プ ログラム(PYP)を中心に -	美術館・大学・学校の連 携、それぞれの学びと気 づき 須田悦弘展の鑑賞 プログラム実践を通して①
	本間美里(東京都大田 区立矢口小学校)	湯川雅紀(和歌山県立 田辺高等学校)	春野修二(福岡教育大 学附属小倉中学校)	小池研二(横浜国立大 学)	神野真吾(千葉大学)・ 縣拓充(日本学術振興 会特別研究員)・山根佳 奈(千葉市美術館)
10:05 ~ 10:35	対話型鑑賞における「鑑 賞者同士の相互学習支 援」に関する一考察	生徒の自己意識と自画 像の指導	教育実習に基づく「美術 教育論文」作成とその意 義	韓国の初等教育に於ける 第1次教育課程「美術科」 に関する研究-教科目標に おける韓・日・米の比較を 中心に-	美術館での鑑賞体験が児 童にもたらす教育的効果 須田悦弘展の鑑賞プロ グラム実践を通して②
	平野智紀(経営学習研 究所)・三宅正樹(京都 造形芸術大学)	西公美・前田基成(女子 美術大学大学院美術研 究科)	新関伸也(滋賀大学)	千凡晋(東京学芸大学 大学院連合学校教育学 研究科)	縣拓充(日本学術振興会 特別研究員)・神野真吾 (千葉大学)・笹本博紀(千 葉市立大宮台小学校)
10:40 ~ 11:10	半開きの対話:対話型 鑑賞における美学的背 景についての一考察	小学校1年生と2年生に よる絵画を使ったお話作 り-文節・命題・命題統 合の分析-	初等教育教員養成にお ける教科教育法の授業に 関する実践的考察(4)- 協同的な学びの導入-	InSEA 設立への「アメリ カ」の関与について	作家と美術館の連携によ る教育普及活動
	北野諒(京都造形芸術 大学)	若山育代(富山大学)・ 森敏昭(広島大学)	吉田貴富(山口大学)	大島賢一(信州大学)	森長俊六(広島大学附 属中・高等学校)
11:15 ~ 11:45	表現とヒストリートークで 深める鑑賞能力の考察	鏡による空間認識から 発展する表現活動の研 究	図画工作科の授業研究 体制の有効性と課題~ 聞き取り調査の分析を 通して~	美術教科のアセスメント から見えてくること-日米 の比較を通して-	ワークショップを通して 学生と出会うという体験 を考える-子どもアート カレッジ 2012におけるオ ートエスノグラフィー-
	立川泰史(東京学芸大 学附属小金井小学校)	清田哲男(川崎医療福 祉大学)	隅敦(富山大学)	ふじえみつる(愛知教育 大学)	笠原広一(福岡教育大 学)
11:50 ~ 13:00	昼食				
13:00 ~ 13:40	開会式・総会				
13:50 ~ 14:50	三学会連携行事 シンポジウム：美術教育における「実践者にして研究者」の像 大橋功(日本美術教育学会)・西村俊夫(大学美術教育学会)・新井哲夫(美術科教育学会)・金子一夫(コーディネイト)				

15:00～ 16:30	美術教育史研究部会	工作・工芸領域	乳・幼児造形研究部会		
	地方美術教育史の諸相 テーマ説明:金子一夫(茨城大学) 1.明治末・大正期の広島県小学校児童作品の紹介:赤木里香子(岡山大学) 2.「大阪図画」と「一本線」描法:花篤實(大阪教育大学(名誉教授))・宇田秀士(奈良教育大学)	工作・工芸教育研究を 考える:佐藤賢司(大阪教育大学)福井一真(愛媛大学)	養成校の授業に生かす 「子どもの視点」		
16:40～ 17:10	阿部七五三吉の手工教育における実践方法の研究-東京高等師範学校附属小学校を中心に-	テイト・ギャラリーの教育普及から学ぶこと -Verbal Eyesなどの教育プログラムを中心に-	3DCG 表現指導における協同学習の成立	モルティブ共和国における美術教育実践に関する質的研究	「高齢化」に関連する美術教科書掲載作品の研究
	平野英史(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)	山本朝彦(鳴門教育大学)・井上由佳(文教大学)・塚田美紀(世田谷美術館)・酒井千波(テイト・ギャラリー)	上山浩(三重大学)	箕輪佳奈恵(筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻芸術科教育コース)	山口喜雄(宇都宮大学)
17:15～ 17:45	伝統文化の授業化をめざす教員支援プロジェクト-岡山県立美術館制作の“スゴ技ながもち”による実践-	美術館展解説図録にみる主題・題材概念-大英博物館展、ベルリン美術館展、マウリッツハイス美術館展図録から-	造形実験装置による巡回式ワークショップ・プログラムの開発研究～アートツール・キャラバンによるアートを“ひらく”試み～	アメリカの美術館教育の発展に関わる内的及び外的要因についての考察	ものづくりの責任(倫理)に関する研究-アイヌ民族の伝統的造形「口琴」の教材化を通して-
	山口健二・赤木里香子・大橋功(以上、岡山大学)・平田朝一(岡山県総合教育センター)・岡本裕子(岡山県立美術館)	山田一美(東京学芸大学)	大泉義一(横浜国立大学)	鳥賀陽梨沙(同志社大学)	佐藤昌彦(北海道教育大学)・宮脇理(元・筑波大学)

■大会 第2日 3月29日(金)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
テーマ	鑑賞教育・ 美術館教育	図工・美術科授業研究 A (デジタルイメージ・ 工作・工芸 など)	図工・美術科授業研究 B (造形遊び・造形活動・ あそび など)	教員・プロジェクト など	特支・子ども・アート教育 など
9:00-9:30	鑑賞と表現のカリキュラム の立案及び評価に関する 研究-順序性に注目して-	3DCG のリテラシー再考	「ビー玉の道」における造形 遊びの質的授業分析	高等学校美術教師の自己 内省モデルの検討	
	若井ゆかり(鳴門市鳴門西 小学校)	浅野恵治(東京学芸大学 大学院連合学校教育学研 究科)	桐田敬介(上智大学大学院 総合人間科学研究科・日本 学術振興会特別研究員 DC1)	興水愛子(筑波大学大学 院人間総合科学研究科博 士前期課程)	
9:35-10:05	幼稚園の年中児と年長児 における言葉の比較と援助 -幼児が絵画をみて楽しむ 鑑賞教育の実践事例を通 して-	STEAM 教育による生活世 界の創造的拡大	造形遊び実践に基づく幼 小の個性と連続性につ いての考察	美術教育の題材づくりに関 する一考察(2)-教師が題 材づくりに必要と考える力 をきっかけとして-	重度・重複障害児の造形 活動に関する質的研究
	丁子かおる(和歌山大学)	安東恭一郎(香川大学)・金 政孝(韓国教育課程評価 院)	山田芳明(鳴門教育大学)・ 西尾正寛(畿央大学)・廣瀬 聡弥(美作大学)	相田隆司(東京学芸大学)	池田吏志(広島大学)
10:10~ 10:40	美術作品の様式を言語化 して感受理解させる鑑賞教 育-SD 法による仏像感情の 調査を中心に-	映像メディアを活用した美 術科学習活動の可能性- 広島県中学校 写真教育 の現状をふまえて-	図画工作科における造形 遊びの一考察-低学年の色 あそびに着目して-	アートプロジェクトの授業導 入に関する考察	知的障害児における美術 を媒体としたコミュニケー ション教育-ワークショップの 構造を視点とした行動分析 -
	有田洋子(島根大学)	岡本太郎(広島大学大学院教 育学研究科生涯活動教育学 専攻造形芸術教育学専修)	竹谷摩維子(東京都府中 市立新町小学校)	三橋純子(北海道教育大 学)	森芸恵(筑波大学大学院 教育研究科)
10:45~ 11:15	ポール・ゴーギャン作『アレア レア』の鑑賞における、美的 特性の感受と主題感受の調 査研究-負の抒情をめぐって-	子どもと教師と作家を対話 で結んだ美術鑑賞教育	粉から遊ぶ粘土づくり	「美術と福祉プログラム」に おける共同制作=造形遊び (2)	からだ・気づき・対話のアー ト教育 II
	立原慶一(宮城教育大学)	向角典倫(東近江市立朝 桜中学校)	江村和彦(名古屋経営短 期大学)	葉山登(横浜創英大学)	郡司明子(群馬大学)
11:20~ 11:50	ドメニコ・ギランダイオの 祭壇画(聖子礼拝図)2点 の読解的鑑賞(試案)-テキ スト、図像学、アトリビュート (象徴的持物)-		粘土遊びの指導方法に関 する一考察	工部美術学校の教育課程 における石膏像素描	子どもの世界をつなぐ媒体 としての造形行為につい ての一考察-子どものふるま いの変化と他者へのひろが り-
	岡田匡史(信州大学)		藤原逸樹(安田女子大学)	瀬谷裕美(茨城県立取手 松陽高等学校)	神保悠(兵庫教育大学大学 院連合学校教育学研究科)

11:50～ 13:00	昼食				
13:00～ 14:30	高校美術研究部会	現代<A/E>部会	授業研究部会		
	高等学校における大学・美術館との連携教育:高橋承一(愛知県立岩倉総合高等学校)	現代社会は<美術/教育>を“なぜ”もとめるか	美術科教育における授業研究のすすめ方		
14:40～ 15:10	『美術愛好-L'amour de l'art-』再読	木工作に関する実践的考察-小学校2年と4年の授業を通して-	「遊び」を活かした美術教育実践の構想(1)-大阪児童美術研究会と乾一雄(1920-1992)の美術教育-	子ども造形ワークショップにおける様々な素材と技法	子ども・若者の変容と美術教育の役割
	結城孝雄(東京家政大学)	蝦名敦子(弘前大学)	宇田秀士(奈良教育大学)	小島雅生(東海学園大学)	荒川洋子(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(新潟市立赤塚中学校))
15:15～ 15:45	鑑賞を支援するティチャーズバックの開発～つなげる鑑賞法を用いた鑑賞支援～	造形活動における児童の感受を通じた芸術発信II		表現教育における子ども達の「挑戦」と「試行錯誤」-ドイツ芸術教育学者E・レットガ-を手掛かりとして-	今、改めて図工美術教育の目的を考える
	奥本素子(総合研究大学院大学)	竹内晋平(奈良教育大学)		安部順子(堺市立晴美台中学校)	矢木武(東京学芸大学)

*プログラムの内容については変更する場合があります。